

ひろば 大代

No. 5 1 0

令和4年1月号

大田市の人口
(R4. 1. 1 現在)
大田市 33,243 人
内大代町 315 人
男 144 人
女 171 人

謹賀新年

本年もよろしく

お願いいたします

大代まちづくりセンター

年頭の御挨拶

大代まちづくりセンター長
大代高山会会長 佐藤哲朗

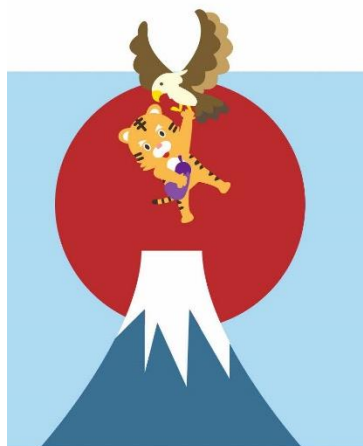
明けましておめでとうございます。皆様におかれましては家族お揃いで静かな新年をお迎えのことと存じます。1年間大代まちづくりセンター・大代高山会の運営に温かいご支援を賜り、心からお礼申し上げます。

新型コロナウイルスワクチンの接種効果か、11月に入ってから感染者が急減しました。その要因は不明ですがこの状態が続けば、新型コロナウイルス感染症も終息に向かい、昨年・一昨年と続いて中止になっていた町内の諸行事を復活出来ると期待していましたが、年末から感染者が増加し、年明けと共に急激な増加となりました。この中には感染力が強い変異株「オミクロン株」の感染者が各地で確認され、状況は一変しました。

大田市の新型コロナウイルスワクチン接種は、2回目の接種率 87.6% (令和4年1月16日現在) ですが、接種後の時間の経過とともにワクチンの有効性

などが低下するところから2回の接種を終了した方を対象に追加接種(3回目接種)が予定されています。高齢者の皆さんには接種券が1月中旬から順次発送され、3回目の接種は2月以降に、64歳以下の方には接種券が2月中旬から順次発送、接種は3月以降に行われる予定です。

3回目のワクチンを接種することで免疫の機能を高めて抗体の量が増えると言われていきます。ワクチン接種と共に従来から言われている「マスクの着用」「手洗いの励行」「3密(密閉・密集・密接)回避」を行いながら今年も皆さんと一丸となって様々な取組を進めて参りたいと思います。



令和4年を迎えて

連合自治会長 山根義雄

新年明けましておめでとうございます。どうぞ本年も自治会の活動に皆様からのご理解とご協力をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

さて、この2年間、行事や催し物が出来ておりません。新型コロナウイルス感染症が終息傾向になっておりましたが、ここ何日かでまた感染者数が増えてきました。見通しはまだ立ちませぬが、またいろいろな行事や催し物が出来そうです。お祈りし、新年の挨拶といたします。

皆様今年も元気でがんばりましょう。

新年の挨拶

東京石見高山会事務局 大場隆男



大代町、関西高山会、東京石見高山会、大代町出身者の皆様、明けましておめでとうございます。

令和4年の年頭にあたり、謹んで新

年のご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が地球規模で拡大する中で新年を迎えることになりました。幸い日本は、昨年8月半ば来の急激減により、昨年と違い少し落ち着いた状況となっておりますが、新変異株も大いに気掛かりであり、今後「緊急事態宣言」発出をはじめとする事態悪化の無いことを祈るばかりです。

コロナに明けてコロナに暮れる、毎週、毎月、マスク生活はもう結構と思えばかりです。この2年間、大代町の恒例行事であった、都市とふるさとを結ぶ交流会、町民運動会、文化祭他の中止により、年間100回近い行事予定が大幅減となり、また、東京、関西での高山会もやむなく中止せざるを得なくなりました。



H29年度の東京石見高山会総会

懐かしい方々との顔合わせの機会、場が無くなったことは、大変残念でなりません。本年こそは開催を願うばかりです。

話は変わりますが、昨年3月号にて、発行来記念すべき500号となった、大代まちづくりセンター発行の「ひろば大代」が昭和45年以降の半世紀にわたる大代町の自治活動を記録した貴重な重要なものであることです。平成21年より大田市内には7ブロックの集約公民館、各町、主要地域には、従来の公民館に代って「まちづくりセンター」として、28の拠点（1分館含む）が設置されました。各センターの広報活動がインターネットにて見れるよう掲載されておりますが、一部のまちセンのみであり、その広報活動に至っては、掲載メンテナンス不備による途切れ、毎月発行でないこと等、不活発な様子も見受けられます。

我が故郷大代町の「ひろば大代」により、町の活性化に向けてどの時代にも、どんな運営組織で、何方がどんな活動をされ活躍、貢献されたかを記録により記憶を紐解くことが出来ます。改め

て、編集、発行に関わられた先人の方々を思うと共に、現運営関係者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

本年の各号が、3年前と同様の各行事が催行され、季節感、臨場感溢れる話題盛沢山の記事になることを楽しみにしております

最後に、皆様にとって良い一年でありますことを祈念致します。



令和4年を迎えて

関西高山会（明石市・巖松堂書店）
がんしやうどう

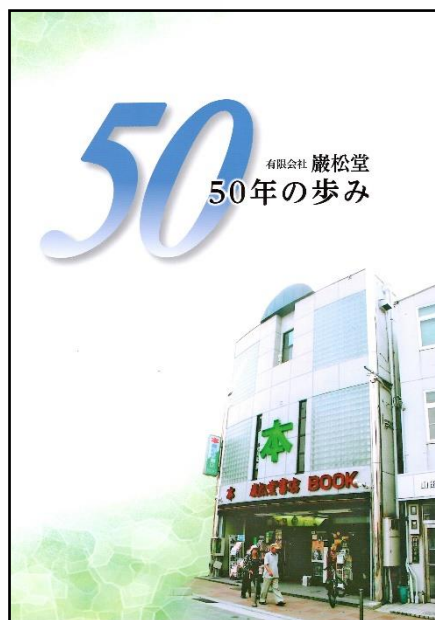
山根金造



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

私事で恐縮ですが、1972年に創業した巖松堂書店が2021年11月13日、お陰様で50周年を迎える運びとなりました。50周年を記念して、巖松

堂書店の簡単な歩み（34頁の冊子）を作成しました。大代まちづくりセンターに10部送りましたのでご覧ください。

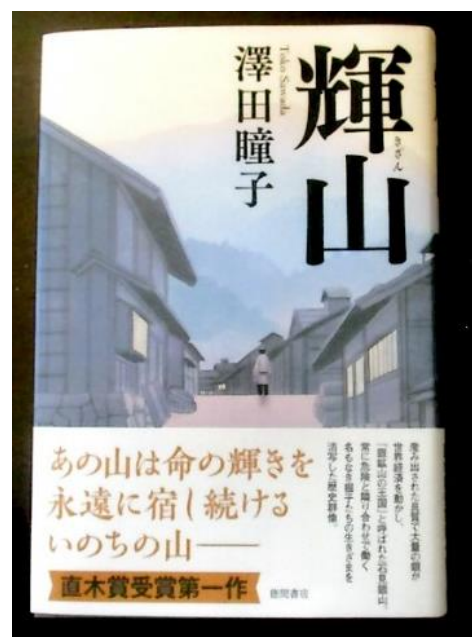


“本の紹介”

『輝山』 澤田瞳子 著、徳間書店、1800円＋税

直木賞受賞第一作。あの山は命の輝きを永遠に宿し続けるいのちの山――。

産み出された良質で大量の銀が世界経済を動かし、「銀鉱山の王国」と呼ばれた石見銀山。常に危険と隣り合わせで働く、名もなき堀子たちの生きざまを活写した歴史群像。ぜひ大代町の住民の皆様にご覧いただきたい本です。



新年の挨拶

農業委員 武田廣司

新年あけましておめでとうございます。ご家族おそろいで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

近年は地球温暖化のため各地で豪雨災害が多発していますが、幸いわが地域では大きな災害もなく、安定した年であったように思います。

私は農業委員に選任されて5年になります。農業委員の使命は農地利用の最適化の推進、農地法に基づく農地の売買・貸借の許可、農地転用案件への意見具申などです。農地は自分の所有

物件で有りながら農地法で制約を受けます。農地法の原点は人間が生きるために一番必要な食料の確保だそうです。現在、我が国の食料自給率はカロリー計算で37%、カナダ264%、オーストラリア224%、アメリカ130%、我が国も終戦直後は88%でした。戦前は日本人の主食と言えばコメであったが、戦後の復興に伴い国が次第に豊かになっていきました。と同時に食生活が欧米風に変化していった事が自給率を低下させた大きな要因と言われています。

農業委員では年に一度、農地利用状況調査を実施していますが、農業従事者の高齢化による離農・米価の低迷・鳥獣害など、特に中山間地域では耕作放棄地が年ごとに拡大しています。このような状況を解消する一助として人・農地プラン（個人で管理出来なくなった農地は意欲のある後



継者に積極的に託す）など施策が有りますが、現在の様な安易なコメ作り主体の農業では全てが空回りしているように思います。これからの中山間地域農業を食料自給率から考えると、畜産の国内自給率は40%、これも飼料自給率を反映すると8%と言われています。負の遺産、耕作放棄地に手を加えて宝の山に変える事は出来ないか・・・比較の対象にはならないと思いますが、大邑開拓地に入植されて繁殖牛1頭から地道な努力を重ね、成功されている例を見るに付け中山間地域農業活性化のヒントになるように思います。今年も農業委員としてさまざまな助言をいただきながら地域農業活性化のため尽力したいと思えます。本年が皆様にとって、幸多い年でありますことを願い新年の挨拶といたします。



新年の挨拶

大代地区社会福祉協議会

会長 高村清

新年明けましておめでとうでございます。令和4年の始まり、皆様、それぞれにおかれましては、新たな希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は地区社会福祉協議会の活動に、また、赤い羽根共同募金にと、例年のことながら多大なるご理解ご協力を頂き有難うございました。

今年も、新型コロナウイルス感染症下での2年目の正月。2回の予防注射である程度治まりつつも、現在、デルタ株、オミクロン株、更に今年になりフランスでのあらたな変異株の発見と、次々とその形・毒性を変え成長を続け私たちに襲い掛かり、その防御に振り回されての毎日の生活です。そして、



いよいよ、島根県でも「第6波の入り口に入ったと言えるのでは。」との県の担当者の発言。また、隣の広島県及び山口県岩国市には、まん延防止等重点措置が適用されるなど、徐々に、再度、私たちの足元に近づきつつあります。これまで以上にマスクの着用、手洗い、3密（密閉、密集、密接）を避けることの徹底が求められることとなります。

さて、毎年同様ではありますが、地区社会福祉協議会としての課題は、人口減少過疎化の中、「住み慣れた地域で住み続けるための施策」に全員一丸となつて取り組まねばなりません。一方では、右記新型コロナウイルス感染症状況下であり、その支援方法が制限されるなか、町民の皆様から今、何が求められ、その中から何ができるか、常時検討・実践していかねばならないと思



います。皆様におかれましても何らかの良策があれば、ご提示して頂ければと思います。

本年も、地区社会福祉協議会として、前述の目的を早急に解決するため、連合自治会の一翼として共に検討、実践に邁進したく思います。例年にも増した町民の皆様のさらなるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝ご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年明けまして

おめでと〜うござります

大代婦人会会長 佐藤京子



今年の1月1日は寒さは厳しくなりましたが雪はなく、晴れ間も見える気持ちの良いお正月になりました。皆様新年をいかがお過ごしでしたか。旧年中は皆様に大変お世話になりました。御礼申し上げます。

昨年は町内の行事参加はありません

でしたが婦人会独自の活動は再開致しました。まちづくりセンターの掃除、慰霊碑の掃除、福祉弁当作り、健康茶、梅干し作り、

J A 女性部へのかぼちゃや里芋の学校給食への提供など。本年も引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大は続いていますが大代婦人会が以前同様に皆様と活動が出来ますように祈っております。

昨年の新年の挨拶は今年は新型コロナウイルス感染症が収まり皆さんと交流出来ますように書いて思います。本年は新型コロナウイルス感染症によってどのような一年になるのでしょうか。旅行も行きたい、みんなで食事もしたい、そろそろ我慢が出来なくなりそうです。今まで同様に大代婦人会が皆様のお役に立てるよう新型コロナウイルス感染症が収まってほし



2021.5.28 健康茶作り

いものです。

皆様のご健康を心よりお祈り申し上げますと共に、大代婦人会へのご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

穏やかな一年に

大田市消防団大代分団

分団長 中垣喜満



明けましておめでとございます。

穏やかな年明けとなり、このまま春に向かつていけばいいなと思っております。昨年は町民のみなさんのおかげで大きな災害もなく過ごすことが出来ました。ありがとうございます。

しかし、災害はいつ起きるかわかりません。気候変動で災害が起こりやすくなっています。天気予報に注意しつつ早めの避難などをして下さい。身の安全が一番です。また、暖房器具等火を使われるときは、安全に使用し火災報知器の点検をお願いします。お願いすることばかりですが、この

一年、大代町が安全で穏やかな一年でありますように、重ねてお願い申し上げます。

年頭の挨拶

大代町体育協会会長 武田穰



謹啓新春を寿ぎ謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

一昨年、昨年と体育協会の主要取り組み案件であります〈大代町民運動会〉の開催が一連の新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止となりました。来年度の体育協会役員様に2022年の開催を託したいと思っております。皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。



新年の挨拶

大代駐在所 花本拓

新年明けましておめでとございます。平素は、安心・安全なまちづくりに関する活動に対し、温かいご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。昨年の大代駐在所管内の治安状況につきまして、大きな事件や事故等もなく、平穏な一年だったのでないかと思えます。しかしながら、特殊詐欺の予兆電話であったり、身に覚えのない不審な封書が届いたりしていますので、特殊詐欺については、他人事と思わずに何かあればすぐに駐在所に相談、連絡をお願いします。今後とも、大代町で事件・事故等の発生を未然に防ぎ、皆様にもより安心して過ごしていただけるよう尽力していきますので、今後も警察活動に対するご協力をよろしくお願いいたします。今年も数年ぶりの大寒波が来訪すると言われておりますが、これから本格的に雪の季節がやってきます。スリッパ事故や雪による転倒等、十分に気を付けてください。

今年もより一層、大代駐在所管内の治安維持のために努力していこうと思います。



新年を迎えて

下市 永井利樹

新年明けましておめでとうございませす。皆様健康やかに新年をお迎えになられたこと、お慶び申し上げます。

昨年もコロナ禍で行動制限等大変な年だったと思います。今年も6波7波とまだまだ続くと思われませんが、皆様にだけは気をつけてお過ごし下さい。

さて、新年と言えば年頭の計画、予定等色々と考えられる事でしょう。私も新年の誓いなど立てますが、「〇〇する」から「〇〇しよう」、「明日からにしよう」となり、意志の弱さからなかなか思うようになりません。でも

今年6回目の年男で強い意志を持って「まず禁煙」。50年以上吸っていたタバコをやめようとしています。



(タバコを販売している者としては心苦しい事ではあります!!) また近年体力の衰えをひしひしと感じています。そこで今年には体力強化の一環として相撲の現役復帰を考えています。せめて夏には中学生と戦える



様、又秋には高校生と勝負できる様に基本から鍛えなおします。(乞うご期待) ケガをしないようにゆっくりと四股踏みから始めます。先日元巨人軍の長嶋監督のリハビリについて話を聞く事がありました。内容はそれはそれは大変な努力で普通の人では絶対に行えない様な運動量の様です。85歳でもまだまだガンバッテおられます。少しでも近づける様に努力します。一

日の計は寅にあり、一年の計は春にあり。今年はこの2点を達成する様に努めます。



昭和23年の作文

山田 泉三枝

「気ヲツケ!!カシラ右。」この言葉を一日に何回繰り返したことだろう。勉強よりも増産増産で、鍬と鎌を持って、少しの荒地を見つけては、さつまいぶを植え、大豆を播いた。道路もひどいガタゴト道で幼児がかくれる位のだぼれ。(道路に空いた穴)、その修理といえは大人の頭程の石を投げ込む程度、両端の柔かい所にはきまって大豆が植えられる。校庭の隅には幾つかの防空壕が掘られ、警報のサイレンが鳴る度に避難した。

戦地へ行く人、既に骨と化して帰る人、それぞれの送り迎え



も授業の一つ、履物も藁草履、たまたま靴の配給があれば少々文数の大きい靴でもかまわず履いた。冬は家で足袋らしき物を縫い、ブクリを履いて通学、素足の人も珍しくなかった。と、昭和23年の作文がありました。そんな時代に私の義母、実母は生きてきました。

年明け早々の通勤時、朝日が青空にキラキラと、とても綺麗でした。毎年1月のキラキラした青空を見ると思いますが、人は一生人と関わって生きるので、まず身近な人、家族だったり近所だったり、信頼関係を忘れず尊重し、自分自身もせつかくこの世に生かされているのだから、自身の事も大切にしたいと思います。

昭和23年の作文時代は、こんな事を思う暇はなかったのでは。

最後になりましたが、明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



俳句

あすなる句会

椿 花田時子

廃屋はいおくに蠟梅ろうばいちらほら咲き初めし
雪道や近くて遠い友を訪とふ

下市 今田文子

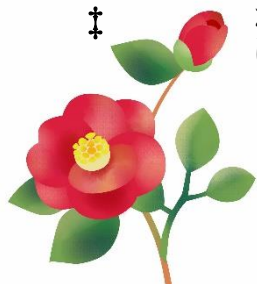
年の瀬に大雪予報ひとり言
コロナ禍や隣の人にも疎遠なる

川上 岩田律枝

娘こと立ちて廚くりやの窓の初明かり
初乗りや句会に急おいぐ老の道

上市 横田美恵子

寒椿つぼみ膨らむ狭庭かな
冬椿一輪の花艶あでやかに

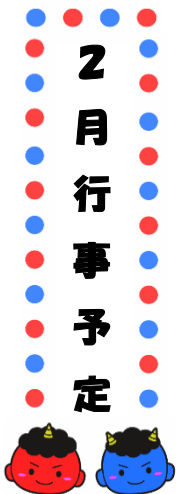


まちセンよりお知らせ

2月1日からメールアドレスのドメインが変更になります。(@の前は変わりません。)

新ドメイン @city.oda.lg.jp

大代まちセンの新しいメールアドレス
mc-ohshiro@city.oda.lg.jp



▼ 7日(月) 税の出張申告相談

受付：9時半～11時、13時～14時

会場：大代まちセン 集會室

▼ 20日(日) 福祉弁当

▼ 23日(水) 連合自治会

▼ 27日(日) 高山地区フロアカーリン

グ交流会 9時～ 高山小体育館

※えびすの会は2月末まで中止となりました。

※行事は延期・中止になる場合があります。